

## 腎臓グループ

### 所属メンバー

- ・佐々木 聡 (講師、昭和 61 年卒)
- ・伊東 広臨 (大学院生、平成 12 年卒)
- ・岡本 孝之 (大学院生、平成 15 年卒)

外来患者数 860 人/年

入院患者数 40 人/年

### 特色ある診療内容

関連病院腎臓外来 道内主要関連病院

腎生検診断 51 例/年

腎不全(保存期及び透析患者)・腎移植関連患者 20 例/年

### 研究内容

- ・全国多施設研究による小児難治性腎疾患（ネフローゼ症候群、IgA 腎症、ループス腎炎）の治療法開発
- ・小児保存期腎不全管理と腎移植治療
- ・ネフローゼ症候群・糸球体硬化の進展機序解明と治療法開発に関する基礎的研究
- ・シクロスポリン腎症における尿細管間質障害発症・進展機序解明に関する基礎的研究

### 発表論文

1. Hamasaki Y, Yoshikawa N, Hattori S, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Ishikura K, Yata N, Kaneko T and Honda M: Cyclosporine and steroid therapy in children in steroid-resistant nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol* 24: 2177-2185, 2009
2. Tanaka Y, Yoshikawa N, Hattori S, Sasaki S, Ando T, Ikeda M and Honda M: Combination therapy with steroids and mizoribine in juvenile SLE: a randomized controlled trial. *Pediatr Nephrol* 25: 877-882, 2010

3. 岡本孝之、佐々木聡、伊東広臨、中島泰志、森田研、三浦正義、下田直彦、福澤信之、野々村克也、有賀 正：入院後 3 ヶ月で末期腎不全に至り、透析・移植を行った IgA 腎症の 13 歳女児例. 日本小児腎臓病学会雑誌 22: 41-45, 2009
4. 高橋弘典、杉本昌也、真鍋博美、梶野浩樹、徳佐良彦、三代川斎之、立野正敏、佐々木聡、藤枝憲二：膜性増殖性糸球体腎炎の治療、寛解後にループス腎炎が判明した 11 歳女児例. 日本小児腎臓病学会雑誌 22: 46-50, 2009
5. 岡本孝之、佐々木聡、伊東広臨、椿 淳子、澤田博行、有賀 正：巨大卵巣成熟嚢胞奇形腫により両側閉塞性腎症を呈し腎機能低下に至った 1 例：日本小児科学会雑誌 13: 1133-1136, 2009
6. 中島泰志、伊丹儀友、佐々木聡、伊東広臨、岡本孝之、有賀 正：乳幼児腎不全症例における胃瘻・腹膜透析同時導入. 日本小児腎不全学会雑誌 29: 242-244, 2009
7. 南波伸子、竹田美香、平吹乃理子、佐々木裕、佐藤静子、宮崎文江、高木眞弓、芳賀真理子、下田直彦、佐々木聡、野々村克也：開腹手術のため血液透析を導入した乳児への看護の 1 事例. 日本小児腎不全学会雑誌 29: 262-263, 2009
8. 服部元史、松永 明、五十嵐徹、伊丹儀友、伊藤秀一、上村 治、太田敏之、桑門克治、佐々木聡、里村憲一、野津寛大、波多江健、幡谷浩史、平松美佐子、和田尚弘（日本小児腎臓病学会統計調査委員会）：1998～2005 年末までの期間に発生した 15 歳未満の末期腎不全症例の 2007 年末の状態に関する追跡調査集計結果の報告. 日本小児腎臓病学会雑誌 22: 226-228, 2009
9. 佐々木聡、伊東広臨、岡本孝之：モデルマウスを用いたシクロスポリンの腎臓への作用の多様性解析. 今日の移植 22: 661-663, 2009

#### 学会発表（全国学会・地方学会）

1. Ishikra K, Yoshikawa N, Hattori S, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Yata N, Ando T and Honda M: Cyclosporine dependency in children with frequently relapsing nephrotic syndrome. 42nd Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Diego, 2009
2. Shima Y, Nakanishi K, Togawa H, Obana M, Nozu K, Iijima K, Tanaka R, Sasaki S and Yoshikawa N: 42nd Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Diego, 2009
3. 佐藤泰征、佐々木聡、伊東広臨、岡本孝之、永島哲郎、有賀 正：小児期膜性腎症の治療選択に関する臨床的検討. 第 112 回日本小児科学会学術集会、奈良、2009
4. 伊東広臨、佐々木聡、岡本孝之、有賀 正：エリスロポエチン誘導体は、シクロスポリン腎症の進展を抑制し得る. 第 44 回日本小児腎臓病学会学術集会、東京、2009

5. 岡本孝之、佐々木聡、伊東広臨、有賀 正：シクロスポリン食前投与と C2 管理は、小児ネフローゼ症候群におけるシクロスポリン腎症の抑止に有利か。第 44 回日本小児腎臓病学会学術集会、東京、2009
6. 関根孝司、國島伸治、三浦健一郎、張田 豊、井田孔明、今野武津子、佐々木聡、松山健、金兼弘和、三浦琢磨、西尾寿乗、大内みやこ、土屋 滋、五十嵐隆：MYH9 R702 変異を有する Epstein 症候群 9 例の臨床像および病理組織学的解析。第 44 回日本小児腎臓病学会学術集会、東京、2009
7. 佐々木聡、佐藤泰征、岡本孝之、伊藤広臨：小児期膜性腎症の治療法と予後に関する検討。第 52 回日本腎臓学会学術集会、東京、2009
8. 岡本孝之、伊東広臨、福澤信之、下田直彦、三浦正義、佐々木聡：急性膀胱炎と腎不全にて発症した全身性エリテマトーデスの 1 例。第 39 回日本腎臓学会東部学術集会、東京、2009
9. 森川俊太郎、戸澤雄介、高橋大介、杉山未奈子、藤原慎一、野呂 歩、鈴木康人、仲西正憲、永島哲郎、岡本孝之、伊東広臨、佐々木聡：急性虫垂炎を契機として診断に至った膜性腎症の 1 例。日本小児科学会北海道地方会、札幌市、2009
10. 三浦正義、下田直彦、田邊 起、福澤信之、野々村克也、伊東広臨、岡本孝之、佐々木聡：腎静脈血栓症で一次腎を喪失後にクロスマッチ陽性二次腎移植を施行し、移植後管理で難渋した一両例。第 19 回北海道小児腎臓病研究会、札幌市、2009
11. 伊東広臨、佐々木聡、岡本孝之、有賀 正：最近、当科において経験した IgA 腎症の組織学的重症度分類の試み。第 19 回北海道小児腎臓病研究会、札幌市、2009

#### 講演・シンポジウムなど

1. 佐々木聡：小児ネフローゼ症候群の臨床-これまでの思い込みとこれからの方向性-。第 11 回群馬小児免疫薬理研究会、前橋市、2009
2. 佐々木聡：小児ネフローゼ症候群の治療-TDM に基づいた治療と長期管理を見据えた方針。京滋小児ネフローゼ症候群講演会、京都市、2009
3. 佐々木聡：モデルマウスによるシクロスポリンの腎への作用の多様性解析。CPCF2009、名古屋市、2009

## 学会活動（委員会委員など）

日本小児腎臓病学会評議員・総務委員、統計調査委員会末期腎不全調査委員(佐々木聡)

小児難治性腎疾患治療研究会北海道地区世話人(佐々木聡)

小児 IgA 腎症研究会幹事（監事）

北海道小児腎臓病研究会会長（佐々木聡）

北海道臨床腎臓研究会幹事（佐々木聡）

北海道腎フォーラム幹事（佐々木聡）